令和５年度　授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）　　第３学年　　１０　練馬中学校

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	・漢字・語句など言葉の知識に苦手意識 ・古文の読解、歴史的仮名遣いに苦手意識	・授業内の漢字の帯学習と毎週の漢字テストを継続すると共に、小学校で学習した漢字の復習をさせる。 ・古文の基礎・基本から丁寧に学習する。歴史的仮名遣いのテストを実施する。	
社会	・基礎学力の定着 ・学習内容を関連付けて、考えたり説明したりすることに苦手意識。	・身近な具体的な事例を活用する。 ・小テストを実施する。 ・ペア学習やグループ学習の時間を確保する。 ・ワークシートを活用して振り返りを行う。	
数学	計算力など、基本的な知識・技能の定着 ・知識・技能を定着し、問題解決に取り組む力 ・数学的な思考・判断・表現力 ・既習事項の定着	・各単元の導入で関係する項目の既習事項の復習を徹底することや、定期考査に過去の単元を出題し、問題に触れさせる時間を多く確保している。	
理科	仮説を既習事項やこれまでの生活経験上のことを結びつけて、論理的に示すこと	・学習内容を単元のまとまりだけの中で捉えるのでなく、様々な分野の内容と関連付けて捉えられるようにする。（関連付ける力の向上を目指す）また、実験結果や観察結果を丁寧に解析できる力をつける。	
音楽	・知識・技能の習得 ・表現技能の向上 ・主体的に表現・鑑賞する力の習得	・授業内の表現活動への声かけ評価 ・主体的に取り組めるワークシートの作成 ・パート内での学び合い高め合い活動の工夫 ・曲の分析・批評を引き出すワークシートの作成	
美術	・独創的な発想 ・自分の発想への気づき	・発想には正解や不正解というものがないことを伝え、安心して自由に発想させる。 ・浮かんできたアイディアを聞き、具体的なアドバイスを行う。	
保健体育	・知識に基づく技能の習得と充実 ・戦術を練ることや、つまずきへの気づき ・主運動による向上できる体力への気づき	・単元別評価の工夫 ➡ワークシートの充実・単元計画の再編 ・自己分析力の向上➡　ＩＣＴ機器の活用	
技術家庭	・学習内容の定着 ・技能の向上	（技術） ・ICT 機器を活用し、学習内容の定着をはかるだけでなく、情報モラルについて知識を深め、情報を適切に評価し、使用できるようにする。机間巡視をおこない支援の必要な生徒への個に応じた配慮をおこなう。 （家庭） ・自ら考えそれを発表する場を増やし、授業への積極的な参加を促しながら学習内容の定着をおこなう。裁縫や調理などを苦手と感じる生徒に机間指導をおこない、技能向上を目指す。	
外国語	・「社会的な話題について書かれた文章の要点を捉える力」と「聞いたり読んだりしたことについて、自分が考えたことや感じたこと、その理由などを書く力」が十分に身についていない。	・語彙力をつけるために、授業内でも繰り返し読んだり書いたりの復習をする。 ・演習問題に取り組む機会を増やす。 ・自分の考えや感想を表すための基礎的な表現を身につけさせる。 ・少人数指導の特性を生かし、教え合いながら基礎学力を定着させていく。	